

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 212-0021

住 所 神奈川県川崎市幸区都町39-1

氏 名 社会医療法人財団石心会

理事長 石井 暎禧

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	社会医療法人財団石心会		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市幸区都町39-1		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	救急医療から在宅介護までの医療・福祉サービスの提供		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		3,226 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	法人事業部 施設管理室
		所在地	川崎市幸区大宮町23-5 コーラルビル3F
	電話番号		044-511-2266
	FAX番号		044-540-1135
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成29年度 ～ 平成31年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

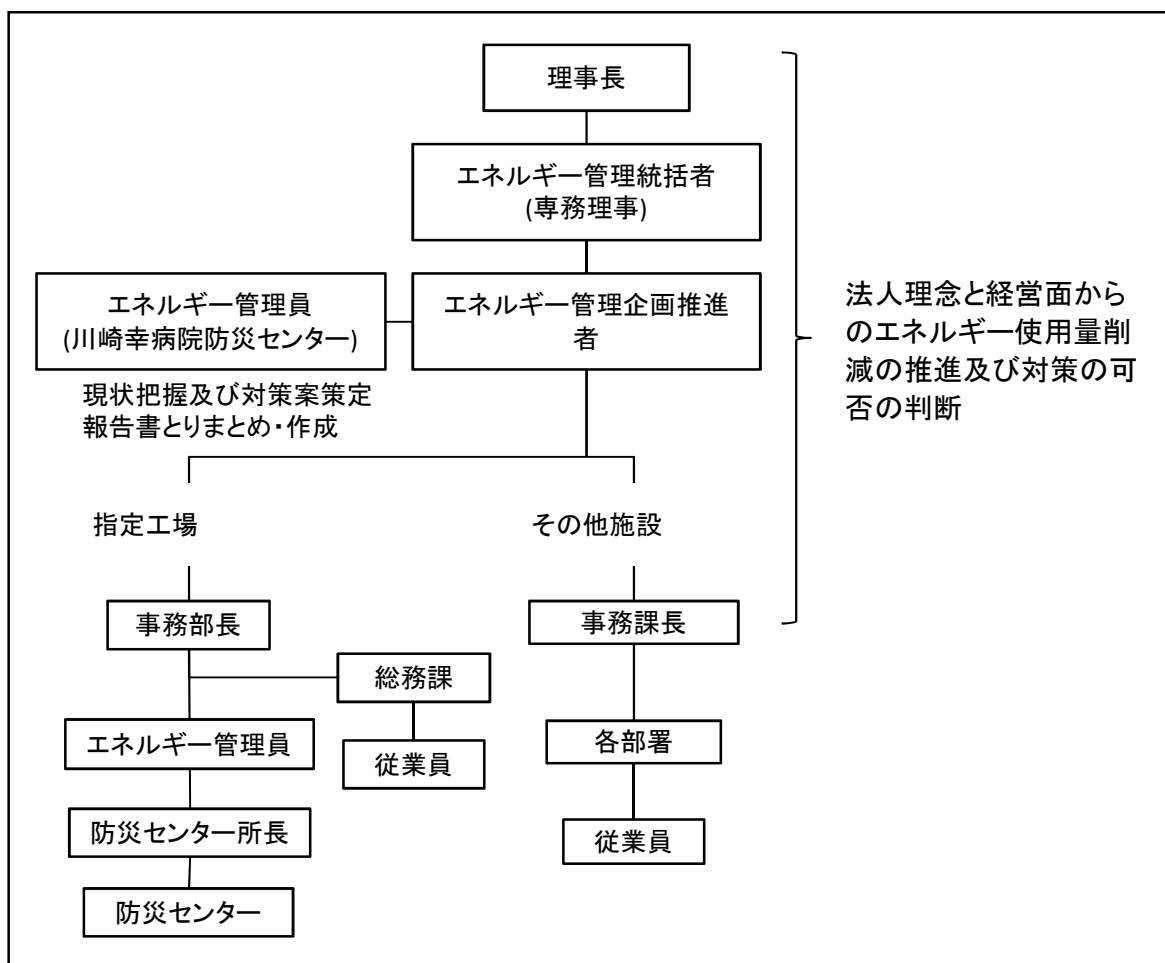
1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

基本方針

法人理念である『断らない医療』『患者主体の医療』の実施を第一義とし、理念・経営戦略との相反を確認し地球温暖化防止対策に努めるものとする。

- (1) 地球温暖化対策を継続的に策定・改定・推進する
- (2) 目標を明確に定め温室効果ガス排出量の削減に取り組む
- (3) 既存の附帯設備及び医療機器の更新にあたっては環境負荷の少ない製品を選定し、且つ併せて同時施工が可能な設備についても検討を行う
- (4) 地球温暖化対策の運用にあたっては法人理念に反しない範囲で対策を推進し、温室効果ガス量の削減に努める。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成28年度	目標年度	平成31年度
基準排出量	(実) 6,274 (調) 6,167 t-CO ₂	目標排出量	(実) 6,086 (調) 5,983 t-CO ₂
削減率	(実) 3.0 (調) 3.0 %	削減量	(実) 188 (調) 184 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原 単 位 の 活 動 量	売上	単 位	t-CO2/百万円
基 準 年 度 の 値	0.2818	目 標 年 度 の 値	0.2876
削 減 率	-2.1 %		
延床面積、生産数量 以外の原単位を使用 した場合の理由	当法人は医療・福祉サービスの提供を主としており、売上とエネルギー 使用量の間に密接な相関関係があるため。		

ウ 目標設定に関する考え方

当法人は平成28年度において現施設体制となって最大の売上を達成した。これにより当該年度のエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を最大値として考慮し、以後各年度においてエネルギー使用量の1%削減を目標とした。 一方原単位と密接な関係を持つ数値として売上金額を設定しているが、平成30年4月に診療報酬の改定が予定されており、これにより基準年度と同等のサービス提供を達成しても売上減少となることが見込まれているためそれを勘案した。 上記のとおり収益の悪化が見込まれているため、計画期間中の医療機器入替等でのリニューアル時のLED導入、照明間引き、空調温度の設定変更等、きめ細かい運用面での対策により原単位の悪化を防ぐ方針である。
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

当法人の基本理念である『断らない医療』『患者主体の医療』に沿った上で省エネ法が謳っている、エネルギー使用量の年間1%削減を目標としている。
--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	・ 照明設備の運用管理 照明設備の更新時にはLEDを導入する(全施設) 不在室等の不要照明の消灯管理を徹底し、設備更新の際はタイマー或いはセンサーの導入を検討する(全施設) 照明制御のカレンダー設定を細分化し不要時間帯の点灯時間の短縮に努める(川崎幸病院) ・ 空調設備の運用管理 温度設定管理(冷房28度、暖房20度)の設定と遵守確認を徹底する(全施設) 設備更新の際はエネルギー効率の良いものを選定し温室効果ガス削減に努める(全施設) 空調機の設定温度については各部署との連携により外気との差異を把握し、細かい設定変更を行う(川崎幸病院) ・ 熱源装置の運用管理 外気温と院内環境の把握に努め温度設定・発停操作の頻度を上げてエネルギー使用量の削減に努める(川崎幸病院)
自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置 (第 3 号該当者等)	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

特になし

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
特になし			

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考
特になし			

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・空調機リモコンへの設定温度遵守のステッカー掲示(全施設) ・職員の残業時間管理と不要な残業の抑制活動(全施設) ・空調設備の更新(4フロア/6フロア、川崎幸クリニック) ・用途変更を伴う内装改修工事に併せ工事範囲内の新設空調機についての製品選定及びLED照明の導入(川崎幸病院) ・照明制御カレンダーの不点灯時間帯の追加(増加)設定(川崎幸病院) ・照明制御盤への曜日及び時間帯別の点灯箇所掲示(川崎クリニック) |
|--|

6 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

特になし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

特になし

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	6,274	t-CO ₂
(調)	6,167	

イ 第 3 号該当者等

(実)	t-CO ₂
(調)	

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎幸病院	川崎市幸区大宮町31-27	8311	一般病院	4,170 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	1
200～300kl 未満	2
100～200kl 未満	1
100kl 未満	3

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--